

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウドの活用

クラウドを活用した共同編集／相互参照／相互評価

クラウドを活用することで、協働で学習することが容易になった。例えばグループでのまとめ活動について1枚の模造紙に書き込む場合とクラウドを活用する場合を比べると、クラウドを活用した方が、児童全員が同時進行で課題に取り組むことができた。また、作業の効率も大幅に上がり活動にかかる時間も少なくなった。

① 共同編集

4年生では、国語で新聞づくりを行った。1枚の用紙に端末上で共同で書き込み、作成した。

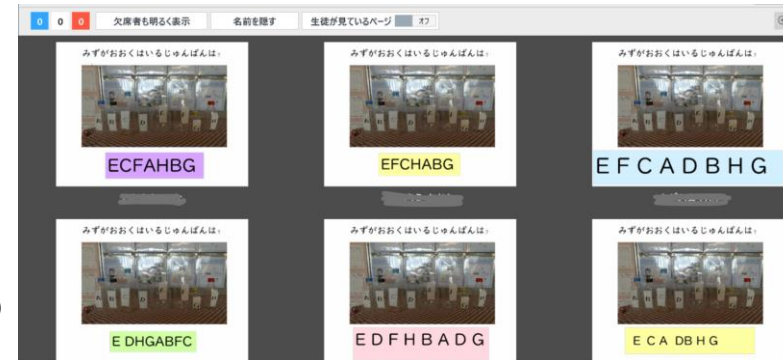


写真①

② 相互参照

写真①は6年生、写真②は1年生の取組である。写真①は、社会科で白紙共有をして各自がキーワード等を構造化したシート、写真②は、算数の時間に自分の解き方をまとめたシートである。児童が友達のページを参照できる設定となっている。それにより自力での解決が難しい児童が友達の考えを参考にしたり、対話したい友達を見つけて話し合ったりすることができる。

写真②



③ 相互評価

学習の成果物をクラウド上にアップロードすることで、互いによさを伝え合ったり、アドバイスをし合ったりすることができた。図画工作の時間は、デジタル美術館と題して作品を掲示板に掲載し、鑑賞のコメントを書いた。（写真③）国語の時間に作成した文章についても文章の推敲をクラウド上で行った。コメント機能を活用して気付いたことをアドバイスし合った。

写真③

